



主催 産前産後の居場所ミモザ & 全国妊娠SOSネットワーク
後援 鹿児島県 母子保健推進会議、日本助産実践能力推進協議会
2026年度



「困難を抱える女性への妊娠期からの連携支援研修」

in かごしま 令和8年11月6日（金）～11月7日（土）

本研修は、予期しない妊娠をした女性や困難を抱える妊婦への連携支援を多職種の支援者と一緒に学ぶ研修です。生活困窮、孤立、精神疾患や知的障害、傷ついた生い立ち、依存症等を抱え妊娠に悩む女性に対し、一つの窓口で完結可能なことは何もなく、多機関による連携支援が求められます。2日間の本研修では、相談の入口から始まる当事者にニーズに応じた多機能な包括的支援を学び、日々の実績に活かせる研修となっています。

11.6 金 10:00～16:00
(受付9:30～)

1. 児童福祉と母子保健への連携：縦割りのプレイクスルー
講師/佐藤拓代氏
全妊ネット代表理事・公益社団法人母子保健推進会議会長・医師
2. 連携支援のコツとボトルネック
講師/松岡典子氏 全妊ネット理事・MCサポートセンターみっくみえ代表・助産師
3. 困難を抱える妊婦のケースワークの実際
講師/赤尾さく美氏 全妊ネット理事・一般社団法人ベアホープ理事・助産師

11.7 土 9:30～13:00
(受付9:10～)

1. にんしんSOSの実践報告とディスカッション
木庭 茜 : にんしんSOS熊本 助産師
大神 嘉 : こどもと女性包括支援センターhalu センター長
安藤 美智子 : 産前産後の居場所ミモザ支援コーディネーター、にんしんSOSかごしま
助産師、社会福祉士、精神保健福祉士
2. 事例から学ぶ地域連携（グループワーク）
ランチと交流タイム（自由参加） 13:00～14:30 ランチ持参・お茶菓子・飲み物あり

対象者 行政関係・保健師・助産師・看護師・医師・養護教諭・福祉関係者・教育関係者等、
予期せぬ妊娠に悩む女性と関わる機会のある専門職の方
※学生一般の方はご遠慮ください

定員 80名（定員になり次第締め切らせていただきます）
※アドバンス助産師更新申請・再認証申請の選択研修として認められます
※会場のみ5時間＋3.5時間

参加費 参加費無料（資料代2,000円）
初日に現金でお支払いをお願いします

持ち物 「妊娠相談の現場で役立つ！妊娠SOS相談対応ガイドブック」第7版
2023年11月発行
※研修で使用しますのでお持ちでない方は購入をお願いします。
当日会場販売1,000円（現金のみ）

お願い 研修の部分参加や遅刻・早退は原則お控えください
昼食は各自でご持参ください（会場内飲食可）

場所 アイムホール
鹿児島県鹿児島市東千石町1-38 鹿児島商工会議所ビル4F

問合せ 産前産後の居場所ミモザ
電話番号：070-1303-7505
メール：mimosa@tonohara.org



【Instagram】【ホームページ】

申込

申し込み先
QRコード▶
申し込み期間
9月10日～10月31日



市電「高見馬場」「天文館通」下車徒歩4分
市バス「高見馬場」バス停下車すぐ



助成：日本財団
後援：鹿児島県、母子保健推進会議、日本助産実践能力推進協議会（日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会・全国助産師教育協議会・日本助産評価機構）